

第1254号

株式会社 茨城木材相互市場

2024

那珂川 NEWS

6

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

皆様方のご支援に心より感謝します！(2024年3月期)
おかげさまで21期連続の黒字決算
皆様方から選ばれる企業を目指します

- 県産材の供給基地(流通の要)の役割を果たします。
- 時代変化へ対応する情報発信基地の役割を担います。

弊社の第69期(2023年4月～2024年3月)業績は、売上高71億7千万円(前期比88.6%)、売上総利益9億1千4百万円(86.8%)、経常利益は1億7千7百万円(同53.3%)、税引後当期純利益は1億3千2百万円(同58.9%)という結果となり、減収減益ではございましたが何とか21期連続の黒字決算を達成できました。これも偏に皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

そして、この21年間「企業の健全性の指標」である自己資本比率向上(30%超え)を最優先課題として取組んで参りました。おかげさまで2023年度38.8%(2002年度12.3%)を達成することができました。これは弊社が人間尊重をベースとした「労使共同経営の精神」で従業員の物心両面の幸福と取引先の皆様方との信頼関係を構築し「皆様方から選ばれる価値ある存在」になることを目標に取り組んできた結果だと思っています。そして、この理念をベースに構築してきた「企業カルチャー」が笠間事業所(2020年11月)並びに西原事業所(2022年6月)の開設に繋がり、大きな収益の柱となり今回の自己資本比率向上に貢献したと思っています。

これからも茨城木材は「人間尊重の精神」をベースに「川上から川下まで潤う体制(サプライチェーン)づくり」のコーディネート役を担い茨城県産材の普及拡大に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。そして同時に「生産(プレカット加工)・建築工事(木工事)」を通じて「住宅資材流通の要」としての役割をしっかりと果たしていく所存でございますので皆様方の変わらぬご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

■わたしたちの使命(SDGs)

(茨城木材の社会的役割)

「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
一循環型地域環境の創造一

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



創立69周年”上半期最大”の記念市!!

「木材まつり」

6月13日(木)

昼食 11:30～ セリ開始 12:30～



イベント内容

●茨城県産材推進協議会

茨城県産材推進協議会様より、ご来市の皆様へ

クオカードを進呈いたします!!

●木材

・「当日お買上現金大抽選会」

当日現金大抽選会では

特賞 1万円が2本! (重複なし)

一等 5千円5本! (重複なし) 二等 3千円5本!

三等 2千円5本! 四等 1千円20本!

が当たります!

セリコーナーにてお買上げ1口につき抽選券1枚!!



●建材「建材謝恩コーナー開催!!」

「特価セール品展示販売!!」

特価品を多数ご用意してお待ちしております!!

ご来市のお客様にもれなく記念品を御進呈!
皆様のご来場を社員一同お待ちしております。

	令和6年4月新設住宅着工				
	計	持家	貸家	給与住	分譲住
全国	76,583	17,878	34,598	1,152	22,955
前期	113.9%	96.1%	120.6%	431.5%	116.5%
茨城	1,523	553	639	24	307
前期	115.8%	90.1%	160.2%	1200.0%	102.3%

県内市別の状況及びR5年度累計は弊社Facebookをご覧ください。

DX 内製化で働き方改革

社員研修開始、独自ソフト開発へ

茨城木材相互市場

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、大谷知行社長)は、DX の内製化に向けた取り組みを開始した。3 月から外部講師を招き、社員が DX の基本を学び始めた。自社に適した管理システムを内製化し、生産性を高めて経営判断を速めていく。そのためには社員がDXの基本を習得し、エンジニアに必要なプログラムの内容を伝えられるようにする。残業時間の解消や事務処理、デリバリー、情報伝達の効率化など働き方改革につなげていく。

3 月から6 月までの全5 回で各部署のリーダー9 人が研修を受講する。JUKAN とスタンダードフォースによる人材育成研修プログラムで、初心者が5 日間で内製化に必要な最低限の技術を習得する。全国の建材流通店でも初の試みになる。

企業独自のシステムをエンジニアに作成依頼するには社員がDXの基本を理解する必要がある。社員がDXでできることを理解し、共通言語を学ばなければ、エンジニアに依頼すべきことも分からない。そこでまず各部署のリーダーが研修を受け、メンバーに伝えていく。

これまででは外部のソフト会社が作成したシステムを導入し、その仕組みに社員が合わせて仕事を進めてきた。しかし、さらに効率を上げるには社員が求める機能をシステム化する必要がある。

例えば、同社は本社の木材・建材販売部とプレカット事業の西原事務所で別々の外部基幹システムを導入している。物販主体の仕入れ・販売管理と、プレカット生産管理のシステムに分かれている。どちらも既存の状態で使いやすいものの、それぞれ操作性も異なり、両者が連動していない。両者をうまくつなぐことができれば、西原事業所の CAD で積算したデータを基に、本社のソフトで請求書を作成できるようになる。

また両者が連動すれば一気通貫で全体が見える化できる。これにより、個別分散化していたデータを集約化し、統一感をもって使いやすく加工できる。全体を俯瞰して見られるようになると、仕事の効率化や省力化で残業の削減にもつながるはずだ。

また既存システムでもパソコンで書類データは確認できるが、スマートフォンまで連動していない。セミナー開催の申し込みも文書作成から FAX 送信、出席確認まで今も手作業だ。これも IT 化ですべて自動化できる。DX 化でうまく仕組みを変革できればスピード感を持って仕事ができるようになる。

研修を受けるなかで、DX 化により既存ソフトを改善する余地があるという気づきが生まれてきた。

同社は「こちらの要望にシステムを合わせないと、求める機能は構築できない。そのために DX の基本を習得し、そのうえで自分たちに必要なプログラムを考えていく」と話す。

県産材比率が4割に増加

茨城木材相互市場

茨城木材相互市場(茨城県水戸市、大谷知行社長)は茨城県産材に特化し、西原事業所・笠間事業所との連携で付加価値を創出している。笠間事業所は約 40 人の大工職人からなる施工部隊を組織し、非住宅の案件を安定して手掛けている。2023 年度も前年を上回る目標を達成した。笠間事業所で木工事し、本社が調達した県産材を西原事業所でプレカット加工する案件も増加した。

同社は約 30 ある県内のほぼすべての製材工場の製品を取り扱っている。22 年度の売上高 81 億円(前年比 22.7%増)のうち、木材販売(プレカット含む)は約 32 億円(同 20%減、構成比 40%)。木材販売のうち国産材比率は約 7 割で、県産材比率はこの 1 年で 3 割から 4 割に増加した。県内製材工場が生産量を増やし、八溝多賀木材乾燥協同組合が乾燥能力を増強したことが背景にある。県内工場の KD 材比率も増加した。

例えば、これまで桧製品は他県産を入れていたが、県産材で間に合うようになった。ただ県内で 3 寸の杉柱角や同間柱を挽く工場が少なく、近県から集めている。4 寸の羽柄や角類は県内工場が強く、一部九州産を入れている。国産材は委託材が 65%で買取材 35%。県内工場はほぼ委託材になる。

同社は邸別アッセンブルを主体に木材を販売し、付加価値を高めてきた。「プレカット工場が人手不足でアッセンブルの人員を減らざるを得なくなり、こちらの価値が高まっている」(同社)。アッセンブルを同社に任せられるため、プレカット工場に加えて地元の材木店も製品在庫を抱えなくて済む。アッセンブルは特に平角が種類も多く力作業にもなり、材料を傷つけずにフォークリフトを操作する技術を必要とする。同社はアッセンブルを西原や笠間での新事業とつなげて、価格競争に巻き込まれない仕組みを構築している。

輸入材コーナー

外材 5 月基準相場

e-mail : gaizai@ibamoku.co.jp

品名	規格	基準相場
桧防腐土台	4.00 × 9.0 × 9.0	95,000
	4.00 × 10.5 × 10.5	95,000
	4.00 × 12.0 × 12.0	95,000
米樺 内地挽 KD	4.00 × 9.0 × 4.5	110,000
	4.00 × 4.5 × 4.5	110,000
米松 KD	4.00×9.0/10.5/12.0	110,000
米松 KD	3.00/4.00×15.0~27.0	85,000
米松 KD	3.00/4.00×30.0~36.0	90,000
RW 集成	3.00/4.00/5.00/6.00×450 迄	95,000
赤松 垂木	4.00×4.0×3.0	115,000
赤松 胴縁	4.00/4.5×15/18	110,000
WW 間柱	3.00/4.00×120×30/45	85,000
	3.00/4.00×10.5×30/45	85,000

概況



5月に入りまして、構造材などの荷動きは上向き傾向になってきています。東京木材埠頭の在庫量は12万㎡となっており、ロシア材の量が1万2千㎡と依然として少なくなっています。上級グレードの価格上昇に伴い、下級グレードの販売が伸びてきている地域もあります。

今後も入荷量は見込めない状況ですが、販売価格だけは上昇しています。米加材に関しては、カナダ準大手米松製材工場ティール・ジョーンズが経営破綻し、米松、米樺、米杉などの供給の面で影響が出てくると思われますが、このような国内の市況が続くのであれば、国内への影響は少ないでしょう。(神)

建材コーナー

e-mail : kenzai@ibamoku.co.jp

合板市況 2024.6

T2(F4)2.3	3×6	1,430	→	ラン構造用 (輸入)	9ミ	2,340	→
T1(F4)3	3×6	1,670	→		12ミ	3,050	→
T1(F4)4	3×6	1,720	→	針葉樹	9ミ	2,100	↑
T1(F4)5.5	3×6	1,880	→	針葉樹	12ミ	2,450	↑
輸入 JAS	3×6	2,540	↑	針葉樹	24ミ	4,900	↑
塗装 (ウレタン)	2×6	2,190	↑	針葉樹	28ミ	5,350	↑
	3×6	2,680	↑	※針葉樹 24・28 ミ実付は 50 円 UP			

(注)建材コーナーのみ工務店価格となっております。

概況

針葉樹合板につきましては、大型連休の影響もあり、堅調な荷動きで推移しております。市況に関しましても合板メーカー・各商社は値上げのアナウンスをしておりますが、出荷が少ない状況が続いており、コストアップにおける商品への価格転嫁ができていない様相です。輸入合板に関しましては、国内への入荷は出荷を上回る状況ではなく、苦戦が続いています。型枠合板など一部のアイテム不足が出ていますので、荷動きが活発ではありませんが、早めの手配も必要かもしれません。ドライバー不足で供給の問題も出てきており、依然として出荷の足踏みが続いておりますが夏場以降の荷動きを注視していきたいと思っております。(直)

今日の一言

二言?



伝えた
伝わったとは
違うんだ



by 高田 明

ジャパネットたかた創業者

人生のハンドルを握り
扉を開けられるのは
自分だけ



by 中島 伸子

井村屋グループ会長CEO

「目の前に大きい壁が立ち塞がる時は
壁に扉の絵を描き、心の中にある鍵で
開けていけ」とのこと。(「致知」より)

何かに挑むにあたり
遅すぎるなんてことは
何一つない



by 三浦 知良

元サッカー日本代表・オリベイレンセ

「結果の伴わない日々をものがき苦しみながらも、
もがけることの幸せを感じて39年間現役生活
を続けている」という話に感動です。

本 社 5 月 基 準 相 場

e-mail : mokuzaibamoku.co.jp

品名	規格	グリーン材基準相場		KD材基準相場	
		特等	1等	特等	1等
杉 正 角	3.00× 9.0× 9.0	40,000	35,000	72,000	
	10.5×10.5	45,000		65,000	B品 45,000
	12.0×12.0	42,000		60,000	B品 40,000
	4.00× 9.0× 9.0	45,000	36,000	85,000	
	10.5×10.5	45,000	36,000	75,000	
	12.0×12.0	45,000	36,000	70,000	
	6.00×12.0×12.0	100,000	上小 180,000	135,000	
	7.00×12.0×12.0	110,000	上小 200,000	165,000	
杉 平 割	3.00×10.5×3.0/4.5	58,000		70,000	
	3.00×12.0×3.0/4.5	58,000		65,000	
	4.00×10.5×3.0/4.5	58,000		80,000	
	4.00×12.0×3.0/4.5	58,000		75,000	
桧 正 角	3.00× 9.0× 9.0	60,000		80,000	
	3.00×10.5×10.5	70,000		80,000	
	3.00×12.0×12.0	70,000		75,000	
	4.00× 9.0× 9.0	75,000		95,000	
	4.00×10.5×10.5	75,000		85,000	
	4.00×12.0×12.0	75,000		80,000	
	6.00×12.0×12.0	140,000	上小 250,000	165,000	
	7.00×12.0×12.0	200,000	上小 300,000	235,000	
杉 平 割	3.65× 4.0× 3.0	60,000	モルダ-	4m 85,000	
巾 板	3.65× 4.5× 1.4	58,000	48,000	4.00× 4.5× 1.5	90,000
	3.65× 4.5× 1.8	58,000		4.5× 1.8	90,000
	9.0× 1.4	55,000	45,000	9.0× 1.5	90,000
	9.0× 1.8	58,000	45,000	9.0× 1.8	90,000
	10.0× 1.4	58,000	45,000	10.0× 1.4	90,000
杉 板	3.65×15.0~21.0× 2.4	53,000		4.00×21.0× 2.4	80,000
	1.82×15.0× 1.2	38,000		〈杉本実目透加工板〉	
小 割	3.65× 3.0× 2.4	60,000	35,000	3.65×10.5× 1.2	特等 束 6,000
杉 瓦 棧	3.65× 1.8× 1.8	本 80			ム上小 束 9,000

プレカットコーナー



5月のプレカット工場の稼働状況はGW前後の動きも少なく、各提携工場とも低調な動きになりましたが、少しずつ以前の見積り物件も動きだしていますので今後の動きに期待したいところです。

6月は梅雨の時期のため荷傷みなどが懸念されます。そのため慎重な納期確認が必要かと思われます。新規物件等のご検討されているお客様はお早めのお問い合わせ、ご用命を頂けますようお願い致します。

(飯)

木材市況

5月連休明けの市況は、住宅並びに非住宅物件とも需要が今一つ波に乗れず停滞した月となりました。6月からの回復を期待したい所です。原木価格は杉桧共に小角取りの丸太は高値で推移しており、今後適正な製品価格の維持が課題になりそうです。また、あらゆる分野で値上げが重なる中、木材価格の安定が求められていると思います。6/13に開催される木材まつりでは各メーカーより優良材を数多く取り揃え木材営業部一同全力で取り組んで参りますので多数の御来市を心よりお待ちしております。(河)

〔市日予定〕

＜ 本 社 ＞

6月13日 (木) 記念市
12:30 せ/開始

＜ つくば ＞

6月6日(木) 記念市

公式 SNS にて最新情報をお届けします！是非ご覧下さい！

Instagram



Facebook

